

市議会

\ 伊勢崎のさがわかる /

いせさき

第5回
定例会

No.105

2026.1.1

伊勢崎市部設置条例等の一部を改正する条例案など24議案を可決



市長から提出された議案 24件

- 専決処分 1件
- 条例関係 12件
- 補正予算 5件
- その他 6件

●11月28日 本会議

- ・会期決定（12月16日までの19日間）
- ・会議録署名議員の指名
- ・市長提出議案（令和7年度伊勢崎市小型自動車競走事業費特別会計補正予算（第1号）の専決処分の承認についてなど6件）を承認及び可決
- ・市長提出議案（伊勢崎市部設置条例等の一部を改正する条例案など18件）の提案理由の説明
- ・議案に対する質疑
- ・所管の常任委員会に議案を付託

●12月2日 本会議

- 一般質問（質問者：議員7人・答弁者：市長、教育長及び所管の部長）
- 12月3日 本会議
- 一般質問（質問者：議員7人・答弁者：市長、教育長及び所管の部長）
- 12月5日 総務委員会
- ・議案の審査 4件
- ・所管事務調査

●12月8日 文教福祉委員会

- ・議案の審査 5件
- ・所管事務調査
- 12月9日 経済市民委員会
- ・議案の審査 1件

- ・所管事務調査
- 12月10日 建設水道委員会
- ・議案の審査 8件
- 12月16日 本会議
- ・常任委員会の委員長から審査結果の報告
- ・議案の審議（結果は11ページに記載しています）

主な議案の概要

伊勢崎市部設置条例等の一部を改正する条例案

機構改正の実施に伴い、改正の必要を認めたものです。第1条は、伊勢崎市部設置条例の一部改正で、市長戦略部を設置し、分掌する事務を定めるもの、秘書課において分掌している事務を総務部から市長戦略部に移管するもの、企画調整課において分掌している市政の総合計画及び調整に関する事項を市政の経営企画に関する事項に改めるもの及び広報課において分掌している事務にシティブロモーションに関する事項を加えるものです。第2条は、伊勢崎市総合計画審議会条例の一部改正で、企画調整課を経営企画課に改めるものです。第3条は、伊勢崎市国民保護協議会条例の一部改正で、委員の定数を改めるものです。

伊勢崎市土砂等の埋立て等の規制に関する条例の一部を改正する条例案

宅地造成及び特定盛土等規制法が施行されたことによる重複する規制の整



伊勢崎クラブ
野田 文雄



動画はこちら

つなとりスポーツ広場の整備について

問 夏季になると草が伸びて、利用者から使いづらいとの声を聞く。大雨の際には、グラウンドが荒れてしまい安全にプレイできないなどの声も聞く。安全で快適に利用できるような現在の土のグラウンドを人工芝にするなど検討が必要と考えるが、今後の方針は。

答 人工芝にする等の整備には多額の費用がかかることから、令和11年に本県で開催される国民スポーツ大会に向けた施設整備を優先しつつ、今後の在り方については、市民ニーズを把握するためのアンケート調査を行うなど、整備の必要性や整備時期、形態等について検討していきます。

その他の質問

●伊勢崎オートレース場メインスタンドについて



昨年度の3市連携利根川花火大会

理等を行うことに伴い、改正の必要を認めたもので、宅地造成及び特定盛土等規制法の規制と重複する規定を削るもの、土砂等の埋立て等を行う場合の許可に係る手続を届出に改めるもの及び罰則の適用基準を見直すものです。

伊勢崎市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案

国の定める基準の一部改正に伴い、改正の必要を認めたもので、当該基準を参酌した上で、母子保健法に基づく乳幼児の健康診断の内容が、利用乳幼児に対する健康診断の全部または一部に相当すると認められるときは、家庭的保育事業者等は当該健康診断の全部または一部を行わないことができることとする規定を加えるとともに、規定の整備を図るものです。

令和7年度伊勢崎市一般会計補正予算（第6号）

歳入歳出予算にそれぞれ10億7084万9000円を追加し、その総額を956億9495万5000円とするものです。内容は、給付単価及び障害児通所サービスの利用者数の増加に伴う障害児福祉給付事業の増額、医療扶助費等の増加に伴う生活保護費の増額、事業内容の変更に伴う幹線道路整備事業の増額のほか、人事院勧告を踏まえた改定や人事異動等による人件費の調整が主なものです。また、歳入歳出予算に関連して、11件の債務負担行為の

いせさきGXを推進していく上での将来ビジョンは

いせさきGXの推進について

問 新たな計画策定は、本市が未来に向けたエネルギーの安定供給、温室効果ガスの排出削減のみならず、経済成長とともに実現するための重要な取組であり、柔軟かつ実効性のある計画とすることが重要だと考える。一方で、国では令和8年度重点施策としてZEHやZEBによる住宅・建築物の脱炭素化、ペロブスカイト等再エネの導入促進など先進的な項目を掲げており、本市でも積極的に取り組むべきと考えるが、いせさきGXを推進していく上での将来ビジョンと今後の取組は。

答 計画改訂等の方針は、本市の自然的社会的特性や第3次伊勢崎市総合計画等を踏まえた上で、温室効果ガス排出量実質ゼロを目指す将来ビジョン及び脱炭素シナリオを示すとともに、設定する計画目標に対して対策及び施策を検討の上で、体系的に整理することとしています。これらの方針に基づいて改訂等を行う新たな市の地球温暖化対策実行計画が、いせさきGXの推進に向けた将来ビジョンとなると考えています。今後の取組は、脱炭素シナリオを着実に実行していくこととし、公共施設への太陽光発電設備の導入を計画的に進めるとともに、発電される電力の有効活用を目指していきます。

追加及び地方債の補正を行うものです。

公の施設の指定管理者の指定について

- 施設 伊勢崎市臨海学校
- 指定管理者 株式会社日本水泳振興会

●指定期間 令和8年4月1日から令和13年3月31日まで

伊勢崎市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案

人事院勧告及び県人事委員会勧告を踏まえ、改正の必要を認めたものです。改正の概要について、第1条は、民間給与との均衡を図るため、給料月額を平均で3・3%引き上げ、全ての給料表の改定を行うもの、令和7年12月に支給する期末手当及び勤勉手当の支給月数について、民間の支給割合に見合うようそれぞれ年間0・025月分引き上げるものと並びに通勤手当及び宿日直手当の額を引き上げるものです。第2条は、令和8年6月以降における期末手当及び勤勉手当の支給月数を改正するものです。

学習者用タブレット端末の処分について

令和2年度に取得した市内小中学校の学習者用タブレット端末について、機器の更新に伴い、売却するものです。数量 1万1933台
・売却予定価格 1億1088万8800円
・契約の相手方 株式会社萬年



伊勢崎クラブ
吉山 勇



動画はこちら

問 市民及び事業者が市の方針と連携して温室効果ガス排出量削減に向けた取組を行うことはGXのさらなる推進に向けて重要と考えるが、市民及び事業者に対する取組と今後の考えは。

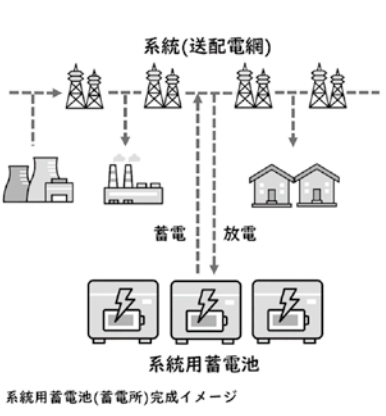
答 市民に対しては、親子環境教室や花と緑と環境フェアの開催、家庭用脱炭素化設備導入補助金や省エネ家電買換補助金を交付しています。事業者に対しては、脱炭素経営・補助金活用セミナーの開催、中小企業GX推進事業費補助金を交付しています。今後も啓発や補助事業を実施することで市民及び事業者と連携して推進していきます。

その他の質問

●特別養護老人ホームのごみ処理支援について

●合併処理浄化槽設置の助成について

●公共交通網の再構築について



先進的な取組でいせさきGXの推進を



公共施設管理において縮充の考えは

公共施設管理の今後について

問 公共施設の床面積を縮小しながら機能を充実させる「縮充」をキーワードに公共施設の方性について、新たな施設の建設は、最後の選択肢である。重要なのは立派な施設を新たに整備することではなく、持続可能な仕組みを構築し、市民の活動を充実させることである。従来の長寿命化して使い倒し、時期が来れば更新する、その発想だけでは、少子化プラス資材・人件費高騰の未来を生き抜けない。そこで、「縮充」の考え方について、市長の所感はどうですか。

答 財源が限られる中で公共施設を取り巻く環境は厳しさを増している状況で、公共施設ありきの政策から脱却し、施設の単純な更新ではなく機能の見直しによる複合化、多機能化を図るため、施設の規模は小さくなったとしても機能を充実させる考えは、伊勢崎市公共施設等総合管理計画における公共施設等の管理に関する基本的な考え方に通じるものと認識しています。本市としての縮充を進めることで、市民サービスを後退させず将来世代の負担を減らすよう取り組む考えです。

ふるさと寄附金について

問 令和6年度の本市への寄附からふるさと寄附に関わる委託料・手数料・



伊勢崎クラブ
馬庭 充 裕



動画はこちら

交付税措置されない市民税控除額25%を差し引いた額は。

答 ふるさと寄附金収入額は、2億5083万3500円であり、実質的な収支は、3692万1142円の黒字でした。

問 地域経済への波及効果も期待できる体験型返礼品の推進について所見は。

答 本市へ寄附をしていただいた後に、その返礼品として本市へ来訪し体験等をしていただく体験型返礼品のさらなる拡充を図るとともに、後納型ふるさと納税については、他自治体の先進事例の調査等を行いながら、多角的に研究を進めていきます。

その他の質問

●介護予防について

●下水道接続の推進について



ふるさと納税の体験型返礼品の推進を

地域の防災力を高める地域防災訓練の実施単位は

防災について

問 国は、市町村に地域防災計画の策定を義務づけている。また、災害対応における公助による限界を明言し、地区居住者等による地区防災計画の策定を推奨している。地域防災訓練は旧市と赤堀、あすま、境とでは、実施単位や期間に違いがある。訓練への市民一人当たりの参加機会は平等であることが望ましいと考えるが、地域防災訓練の実施単位は。

答 自主防災組織訓練は、伊勢崎地区と境地区では地区単位、赤堀地区と東地区では消防団の分団単位により、各地区の自主防災組織が主体となり実施しています。

問 防災ラジオの貸与状況は。

答 令和7年10月末時点で1205台です。主な貸与先の内訳としては、避難行動要支援者として登録された方へ880台、避難行動要支援者の支援者として登録されている方へ41台、各小中学校や公民館等の避難所へ60台、各行政区の区長等へ211台です。

問 日本防災士機構によれば令和7年11月時点での防災士の累計認定登録者数は33万8633人、県内では3297人であるが、市で把握する登録者数



会子
志和
有堀 地



動画はこちら

と市の防災政策における位置づけは。

答 令和7年4月末現在、本市に在住する防災士は234人です。地域の防災啓発や避難所開設への参加にも携わっていただくなど、地域の防災力向上のために活動していただくよう要請しています。

問 災害対応のエキスパート採用は。

答 現在、安心安全課防災係に現職の消防職員を1人派遣しているほか、元消防職員を再任用職員として1人配置し、より効果的な防災減災対策の推進に努めています。自衛官については、本年度から前職が陸上自衛隊の幹部自衛官であった職員を、社会人枠で採用しています。

その他の質問

●多文化共生について



地域の防災力を高める取組を

Park-PFIの進捗状況は

華蔵寺公園水生植物園について

問 本市では「華蔵寺公園共生『はな咲く』プロジェクト」として、華蔵寺公園のリニューアルを進め、その一環として、華蔵寺公園水生植物園におけるPark-PFIを活用したカフェなどの設置を進めているが進捗状況は。

答 令和8年2月中旬のオープンに向けて進捗しており、営業時間は午前11時から午後10時まで、軽食などを販売する予定で現在調整中と事業者から伺っています。本市としては、水生植物園北側にインスタ映えスポットとして、夜間に発光するアルファベットのKEZOJIの文字のモニュメントをオープンに併せて供用開始するなど集客につながるようPRに努めていきます。

問 水生植物園内をライトアップする考えは。

答 水生植物園の再整備に併せて、新たに遠路を照らすローポール型の照明施設を38機設置し、あすまや周辺やベンチ及び水生植物園のメインツリーであるアカメヤナギ等の施設のライトアップを実施します。

庁舎内電話の保留音について

問 電話保留音を単に備付けの曲を流すのでは、もったいないと感じている。



リニューアルする水生植物園



伊勢崎クラブ
新 藤



動画はこちら

本市のイメージアップや向上へつながる曲、例えば本市公認テーマソング、LACCO TOWERの「綾」や、「ちゃつきり節」や「カラリ」節」の作曲者である町田佳馨の曲など本市にゆかりのある曲を流すのもよいと考えるが、電話保留音の有効活用は。

答 本庁では、以前から庁舎内電話の保留音を本市の公認テーマソング等に変更することについて検討を進めてきました。保留音の変更には、各庁舎の電話交換機の更新が必要となることから、準備が整い次第、順次変更していきます。また、選曲については、本市のPRにつながるような楽曲を今後検討し決定していきます。

その他の質問

●出生届のオンライン化について

●外国籍の消防団員の受入れについて

名和公民館の建て替えについて

問 名和公民館は、築45年を経過しているが、名和地区の地域生涯学習活動の拠点として重要な役割を果たすとともに、緊急避難場所としても指定されている。本市の市有地の有効活用として、名和公民館東側に隣接する旧第一学校給食調理場の跡地に名和公民館を移転することでよりよい生涯学習の場を創造できると考えるが、名和公民館の移転建て替えへの計画変更の考えは。

答 名和公民館は昭和54年度に建築し、平成22年度には研修室を増築しました。以降現在まで、サークル活動を行う団体や地域住民の生涯学習活動の拠点として重要な役割を果たしています。令和7年3月に改訂した生涯学習課所管施設個別施設計画では、昭和54年度に建築した建物は、令和11年度までに大規模改修工事を実施する計画とし、平成22年度に増築した研修室も、令和16年度までに大規模改修工事を実施する計画としています。また、建物の定期点検を実施し、適宜修繕や工事を進めているほか、本年度はトイレを洋式化する工事を予定するなど、公民館利用者からの要望についても順次対応しており、利用者にとって安心安全で快適な学習環境となるよう整備を行っています。一方で、現在の公民館には、



伊勢崎クラブ
宮 田 芳 典



動画はこちら

これまでの役割に加え、地域コミュニティの拠点として、子供たちの居場所づくりや若者の活躍の場、世代間交流の機会や外国籍住民との交流の場、地域住民の利便性の向上を図るための行政センター的機能などが求められており、施設整備に当たっては、学校教育及び社会教育の関係者、学識経験者などからなる伊勢崎市公民館運営審議会を中核とした検討組織を設けて、市内公民館それぞれの役割や機能及びそれに必要となる施設整備など、これからの公民館の在り方を検討していく必要があると考えています。

その他の質問

●一般廃棄物処理広域化協議会について

●夢あふれるまち伊勢崎の実現について



名和公民館の移転建て替えを



行政ICT化とDXの推進状況と今後の方向性は

行政ICT化とDXの推進について

問 令和3年にデジタル庁が発足し、国・地方行政のICT化やDXの推進を掲げ、様々な施策を講じている。また、地方公共団体の基幹業務システムの統一・標準化が進められ、ますますデジタル化の重要性が高まるものと考えられるが、電子請求取引の利用状況と効率化の進捗は。

答 電子請求取引の利用状況については、令和7年3月から10月末までの8か月間で1878件が電子請求書システムから支出処理されています。効率化の進捗については、請求書受領から支払いまでの時間短縮に大きくつながりました。また、事業所からは、請求業務の時間やコストが削減されたとの感想をいただいています。

問 書かないワンストップ窓口を含めたフロント改革を進め、同時にバックヤード改革や推進体制づくりを促進していくとされているが今後の方向性は。

答 令和7年度市民意識調査のDXの推進に関する項目において最も市民ニーズの高いオンライン手続の一層の拡充に向けて、取り扱う手続の拡大や申請方法の改善などを推進していきます。また、来庁者の利便性向上を図るため、対面によらず相談や手続が可能となる



伊勢崎クラブ 佐藤 智 則



動画はこちら

システム等の導入を検討していきます。加えて、デジタルに不慣れた市民に対しては窓口での丁寧なサポートを継続することで、誰一人取り残されない、人に優しいデジタル化を着実に進めていきます。市の内部事務としてのバックヤードにおける業務改革については、生成AIの活用を進めており、職員の事務負担の軽減に効果を発揮しています。また、令和3年度からはRPAを導入し、パソコン入力等の定型的な作業をロボットにより自動化することで、業務の効率化を進めています。

その他の質問

- 電子地域通貨ISECAの会員数増加と利用促進策について
- 多文化共生における生活環境の保全について
- 不登校対策について



新たに導入された電子請求取引

マイナ救急の実証事業における利用者の反応は

マイナ救急について

問 マイナ救急は、令和4年から全国で、令和7年から本市でも実証事業が開始した。全国的に事業が展開されていく中で利用が高まり、特に救急搬送時における負担軽減が図れると確信しているが、実証段階の利用者の反応は。

答 本市では令和7年10月1日からマイナ保険証を活用して医療情報を閲覧するマイナ救急の実証事業を開始したところですが、常に運用している9台の救急自動車には、マイナ救急用のタブレット端末を導入し、傷病者のマイナ保険証を活用して救急隊員が医療情報の閲覧をしています。令和7年11月1日時点、傷病者に拒否をされた事例はなく、市民からはおおむね好意的に受け止められ、理解をいただいているものと感じています。

問 メリット、デメリットは。

答 メリットについては、傷病者が痛みや苦しさで会話が困難な場合に情報を伝える負担を軽減でき、救急隊は正確な情報に基づいて適切な応急処置や搬送先医療機関の選定ができることなどがあります。デメリットについては、タブレット端末は、通信環境により処理速度が遅くなり、閲覧に時間を要することが想定されますが、このように通



伊勢崎クラブ 椎 名 三 生



動画はこちら

信環境が悪い場合は、救急隊の判断により、マイナ救急を実施することなく通常の救急活動を行うことで、遅延が生じないよう取り組んでいます。

問 市民にマイナ救急の必要性や仕組みについてさらに周知すべきと考えますが、今後の周知方法は。

答 現在、医療機関へポスターの掲示を依頼しています。また、市の広報紙及びホームページにはマイナ保険証の必要性や提示について掲載しています。今後も、このような広報を継続するとともに、効果的な周知方法について調査研究をしていきます。

その他の質問

- 道路管理について
- 市所有の未利用の土地及び施設について



マイナ救急のさらなる周知を

公共施設における学習スペースの拡充の考えは

学習スペースの拡充について

問 伊勢崎駅前インフォメーションセンターや保健センターの学習スペースについて、ニーズの高さを感じている。学習スペースの拡充を可能性のある公共施設で広げていくことや、公民館の改修工事や長寿命化工事の時に拡充することも考えられる。また、建て替え時には、より柔軟で複合的な取組も計画できると思うが、考えは。

答 一部の公民館では、図書室やロビー、空き部屋の開放や夏休みなどの長期休業中には空き部屋を学習スペースとして開放しており、子供たちの交流の場となっています。また、地域交流センター赤石楽舎や青少年育成センターでも、学校の長期休業中には同様の取組を行っています。今後も、年間を通して多くの公民館で子供たちの学習スペースを開設できるよう努めます。また、公民館の大規模改修をする際は、子供たちが安心して快適に利用できる学習スペースの整備を併せて検討していきます。

問 これからつくられる伊勢崎織物協同組合の所有地を活用した、図書館を核とした官民連携複合施設で、防音機能のある小規模なサイレントルームや交流を主とするようなスペースなど、



会 員 志 高 橋 宜



動画はこちら

学習スペースを充実させる考えは。

答 図書館機能の検討に当たり、昨年度実施の市民アンケートや団体ヒアリング、本年度実施の高校生グループインタビューや市民ワークショップで、学習スペースの充実についての意見が多数寄せられています。その中には、集中して読書や学習に取り組める従来の静かな環境としての学習スペース、会話や飲食も可能で、グループ学習や利用者同士の交流にも使えるスペースを求める声も多数ありました。このため、基本構想の検討に当たっては、市民から寄せられた声を反映し、幅広いニーズに対応できるスペースを備えた図書館を目指していきます。

その他の質問

- ウォークابلなまちづくりについて
- 北公民館の今後について



ニーズが高まる学習スペースの拡充を

コンビニエンスストアへAEDを設置する考えは

コンビニエンスストアへのAED設置について

問 学校を含む市内の多くの公共施設にはAEDの設置が進んでいるが、AEDがどこに置いてあるか分からない等の声を聞く。いづどこでAEDが必要になるのか分からないので、地域にある24時間365日営業しているコンビニエンスストアにAEDが設置してあると安心で、設置場所の分かりづらさも解消できる。救急車の到着前にAEDがいち早く使用されることで、救命の可能性を高めることができるように必要と考えるが、市長の考えは。

答 コンビニエンスストアにAEDを設置すれば、市有施設の多くが休館となる休日や夜間においても、誰でも容易にAEDへのアクセスが可能になることや設置場所としても市民に分かりやすいという利点があります。コンビニエンスストアへのAEDの設置については、実施のための費用や手法を含め、効果を十分に踏まえながら検討していきます。

産後ケア事業について

問 産後ケア事業の提供体制を確保し、この事業が必要な人に周知されることが重要だが、今後の取組は。

答 利用手続等の見直しを検討し、受

乳幼児の紙おむつ用ごみ袋の配付について

入先医療機関の確保に努め、利用者の声を聞きながら、産後間もない母親とその家族が安心して子育てができる事業を推進していきます。



党 員 明 公 田 部 井 美 晴



動画はこちら

問 乳幼児のいる家庭では多くのゴミ袋が必要で、レジ袋サイズの消臭剤配合のおむつ用ゴミ袋がとても助かるとの声を多数聞くが、こんには赤ちゃん事業や乳幼児健診で配付する考えは。

答 こんには赤ちゃん事業や乳幼児健診で、紙おむつ用ごみ袋を配付することは、子育て家庭に必要な支援として、他自治体の取組状況や支援の効果などを調査し検討していきます。

その他の質問

- HPVワクチン接種について



コンビニにAEDの設置を



小学生、幼稚園児の学校給食費無償化の考えは

学校給食について

問 政府は、来年度から小学生の学校給食費無償化を開始すると発表し、安中市は、国の動向にかかわらず来年度から完全無償化を行う方針を発表した。本市も来年度からの小学生、幼稚園児の学校給食費無償化をすべきではないか。また、その場合には、現在中学生年代で本市の学校給食を食べていない子供には給食費相当の補助を行っているが、同様の対応を検討すべきと考え、市の考えは。

答 本市の学校給食費の無償化については、中学校、小学校と段階的に事業を進めており、中学校は本年度から実施しています。現在、国が全国の公立小学校の学校給食費の無償化を検討するとの報道がありましたので、国の動向を踏まえ改めて検討していきます。また、幼稚園の無償化は、現状実施する考えはありませんが、他の施策との兼ね合いや財政状況を踏まえ、国、県及び他市の動向を注視していきます。なお、学校給食を食べていない小学生について、中学生と同様に給食費相当額を助成することを検討していきます。

問 現状でのアレルギーへの対応と、今後のアレルギー対応食実施の考えは。

答 食物アレルギーを起こす主な食品



日本共産党議員団
長谷田公子

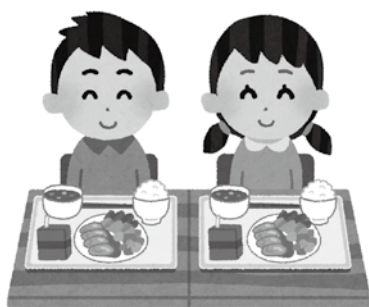


動画はこちら

とされている28品目中、本市は10品目について原則使用しないこととしています。また、原因となる食材を変更した献立の工夫をしています。さらに献立材料一覧及び学校給食アレルギー一覧を保護者へ配布した上で、学校と保護者が相談し、原因となる献立の一部を取り除いたり、弁当を持参したりするなど対応に努めています。また、除去食や代替食を給食で提供する場合、調理、配送、配膳それぞれの工程で原因となる食材が完全に混ざらない、混在しない、触れないというチェック体制が必要となります。子供の安全を最優先に考え、今後も慎重な検討を続けていきたいと考えています。

その他の質問

- 中小企業支援について
- 子育て支援について



小学生、幼稚園児の給食費無償化を

オートレース場のメインスタンドの今後の考えは

オートレース事業について

問 オートレース場のメインスタンドの閉鎖は、入場者の減少や本場での売上減少、経営悪化等、オートレース事業の存廃問題につながると懸念されるが、メインスタンドの閉鎖の理由と時期、公表しなかった理由は。また、メインスタンドの閉鎖が中止できない場合、今後のメインスタンドの考えは。

答 平成27年度に東京都競馬株式会社が耐震診断を行い、震度6強以上の地震が発生した際に倒壊または崩壊の危険性が高い建築物であるとの診断結果が示され、令和元年度に本市が公表しました。令和6年7月に伊勢崎オートレース場内再整備協議会を発足し、協議を重ねた結果、お客様の安全を守るために本年度末までにメインスタンドを閉鎖し、耐震補強が完了しているグリーンスタンドへの移設工事をする決定をしました。公表しなかった理由は、当初は令和8年4月に1か月程度レースを開催しない日を入れて集中的に移設工事を行う予定でしたが、近年の収支状況及び場内関係者の状況を鑑み、令和8年4月以降も本場及び場外発売を開催しながら移設工事を進めることに方針が変更になり、閉鎖時期が未確定になったため、メインスタンドの閉鎖の公表ができませんでした。今



オートレース場のレイアウト図



高橋利昌



動画はこちら

後は、閉鎖の公表を行い、場内関係者への説明会及び来場されるお客様に対して、メインスタンド閉鎖について周知を図っていきます。また、今後のメインスタンド建て替えは、お子様連れなど様々なお客様を考慮し、東京都競馬株式会社と協議を継続していきます。

(仮称)羽黒小学校用地の活用について

問 令和7年3月定例会の一般質問で、全庁的な検討が進められるとの答弁があったが、その後の状況は。

答 本年度、有効活用先について全庁的に呼びかけをしましたが、活用を希望する部署はありませんでした。今後は、市公有財産活用等検討委員会での協議を行い、最終的な活用方法についての判断を行っていきます。

技術職職員の新規採用者に対する給与上乗せの考えは

技術職職員の採用について

問 近年、国も含めて技術職の公務員採用が難しくなっていると報道されている。10年前と比べて市の技術職の募集・応募・採用状況は。また、職業選択の際には給与水準が重要な判断要素となるが、人事院勧告どおりでは採用は難しく、独自の金額の上乗せが必要と考えるが、市長の考えは。

答 10年前の平成27年度の技術職職員の募集、応募及び採用状況は、募集人数7人、応募人数21人、採用人数7人で、昨年度は、募集人数8人、応募人数13人、採用人数5人です。本市の職員給与の決定は、地方公務員法の規定に従って行っています。また、技術職職員の新規採用者に対する独自の給与の上乗せは、現在行っていないませんが、広く人材の確保を目的として新たに職員になったものに対する初任給格付を令和5年度から3号級引き上げて1級28号級とする改正を行っています。

財政運営について

問 伊勢崎市公共施設等総合管理計画では、平成28年度から令和27年度までの公共施設等の更新費用は、既存施設の更新を行うと、年平均28億円不足するとされているが、財政への影響は。また、インフラ経費の総枠のコント

閉園・休園となった幼稚園施設の利活用は

閉園・休園となった幼稚園施設の利活用について

問 閉園・休園の措置が取られた幼稚園施設は極めて貴重な公的財産である。幼稚園特有の広々とした園庭や、日当たりのよい開放的な園舎は、他の公共施設には代えがたいポテンシャルを秘めており、子育て支援・交流拠点、高齢者福祉の場、地域交流のハブ、防災拠点など多角的な活用が現実的に期待できると考える。旧豊受幼稚園、旧南幼稚園、旧茂呂幼稚園、そして、休園中の三郷幼稚園の今後の利活用は。

答 旧豊受幼稚園及び旧南幼稚園は、今後も現在の活用方法を継続する予定です。旧茂呂幼稚園は、解体工事終了後、地質調査や用地測量を行う予定です。休園中の三郷幼稚園については、来年度以降に市教育研究所の長寿命化改修工事を予定しており、その工事の期間中に、教育研究所内に設置している、ほととろくむ中部教室の移転先として使用することを予定しています。

問 旧茂呂幼稚園の利活用について、サウンディング型市場調査を実施する考えは。

答 市公有財産活用等検討委員会において民間活力を取り入れた様々な手法について検討していきます。



多田 稔



動画はこちら

ールという中長期的な考えは。

答 インフラ資産の整備に係る予算を確保するため、施設の長寿命化または統廃合による経費の縮減や費用の平準化に取り組んでいます。また、中長期的にインフラにかけるランニングコストとしての経費、それぞれの計画を研究して進めていきたいと考えています。

問 近年、食品の価格は上昇している。今後、学校給食の食材の質を落とすことなく食材費の値上がり分を予算に反映させる考えは。

答 学校給食における食材費高騰分の対応は、全て公費補填をしており、栄養バランスの取れた学校給食を安定的に提供しています。今後も、食材費の値上がり分を適切に予算に反映させ、学校給食の充実に努めていきます。



採用が難しくなった公務員の技術職



江原智淳



動画はこちら

北部環境線について

問 令和7年6月定例会においても一般質問があったが、その後の市事業区間の進捗状況と事業周知は。

答 本年度は、用地買収、物件移転補償及び埋蔵文化財発掘調査を実施しており、そのうち令和5年度から実施していた墳墓に係る移転契約は全て完了し、順次移転を行っています。また、事業周知については、北部環境線建設促進協議会を中心に事業の進捗状況等の周知を図りつつ、同協議会との協力体制の下、関係地権者や地元住民の御理解、御協力をいただきながら、令和9年度の事業完了に向けて計画的な道路整備に取り組んでいきます。

その他の質問

● 小学校教育における体験活動について



解体工事中の旧茂呂幼稚園



議案の議決結果

は賛否が分かれた議案です。

市長提出議案

議案番号	議案名	付託委員会	議決日	結果
107	令和7年度伊勢崎市小型自動車競走事業費特別会計補正予算（第1号）の専決処分の承認について	付託なし	11.28	賛成全会一致
108	伊勢崎市部設置条例等の一部を改正する条例案	総務	12.16	賛成多数
109	伊勢崎市手数料条例の一部を改正する条例案	建設水道	12.16	賛成全会一致
110	伊勢崎市土砂等の埋立て等の規制に関する条例の一部を改正する条例案	経済市民	12.16	賛成全会一致
111	伊勢崎市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	文教福祉	12.16	賛成全会一致
112	伊勢崎市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び伊勢崎市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	文教福祉	12.16	賛成全会一致
113	伊勢崎市都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例の一部を改正する条例案	建設水道	12.16	賛成全会一致
114	伊勢崎市水道料金等審議会条例の一部を改正する条例案	建設水道	12.16	賛成全会一致
115	令和7年度伊勢崎市一般会計補正予算（第6号）	総務	12.16	賛成全会一致
116	令和7年度伊勢崎市水道事業会計補正予算（第1号）	建設水道	12.16	賛成全会一致
117	令和7年度伊勢崎市公共下水道事業会計補正予算（第1号）	建設水道	12.16	賛成全会一致
118	令和7年度伊勢崎市農業集落排水事業会計補正予算（第1号）	建設水道	12.16	賛成全会一致
119	令和7年度伊勢崎市病院事業会計補正予算（第1号）	文教福祉	12.16	賛成全会一致
120	群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について	総務	12.16	賛成全会一致
121	群馬県市町村総合事務組合の災害弔慰金の支給等に関する事務に係る共同処理の取りやめに伴う財産処分に関する協議について	総務	12.16	賛成全会一致
122	公の施設の指定管理者の指定について（伊勢崎市臨海学校）	文教福祉	12.16	賛成全会一致
123	市道路線の廃止について	建設水道	12.16	賛成全会一致
124	市道路線の認定について	建設水道	12.16	賛成全会一致
125	伊勢崎市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	付託なし	11.28	賛成全会一致
126	伊勢崎市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例案	付託なし	11.28	賛成多数
127	伊勢崎市特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例案	付託なし	11.28	賛成多数
128	伊勢崎市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案	付託なし	11.28	賛成全会一致
129	伊勢崎市病院事業管理者の給与等に関する条例の一部を改正する条例案	付託なし	11.28	賛成全会一致
130	学習者用タブレット端末の処分について	文教福祉	12.16	賛成全会一致

賛否の公表

議案の議決結果で賛否が分かれた議案について掲載しています。

会派名		伊勢崎クラブ														有志会			公明党		共産党		—	—	—	—				
議員名		野田文雄	鈴木良尚	吉山勇	新井智	馬庭充裕	新藤靖	長沼宏泰	宮田芳典	山越清彦	大木光	藤生浩二	佐藤智則	椎名三生	飯島学	定方宏允	柳敦志	田村幸一	堀地和子	小暮笑鯉子	高橋宜隆	内田彰	手島良市	田部井美晴	北島元雄	長谷田公子	多田稔	栗原真耶	高橋利昌	江原智淳
議案番号	第108号、第126号、第127号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○

※会派名のうち、「共産党」は日本共産党議員団です。また、「—」は、所属会派はありません。

※表決に加わらない議長及び欠席等の理由により表決に加わらなかった議員は、「/」で表示しています。

陳情

- 米国の関税措置への対応に関する要望についての陳情（第8号/総務委員会・経済市民委員会）
- 中心市街地活性化対策等の拡充と街なか居住の推進についての陳情（第9号/総務委員会・文教福祉委員会・経済市民委員会・建設水道委員会）
- 市街地再開発事業及び企業誘致の更なる推進についての陳情（第10号/総務委員会・経済市民委員会・建設水道委員会）
- 小口資金融資制度の改善についての陳情（第11号/経済市民委員会）
- 人手不足解消に向けた取組の強化についての陳情（第12号/総務委員会・文教福祉委員会・経済市民委員会・建設水道委員会）

市長からの報告

- 11月28日 市営住宅の管理上必要な訴え（和解を含む）の提起についての専決処分の報告について 3件（第25号～第27号）
伊勢崎オートレース場選手宿舍新築給排水衛生設備工事（債務負担行為）請負変更契約締結の専決処分の報告について（第28号）
伊勢崎オートレース場選手宿舍新築工事（債務負担行為）請負変更契約締結の専決処分の報告について（第29号）
伊勢崎オートレース場選手宿舍新築電気設備工事（債務負担行為）請負変更契約締結の専決処分の報告について（第30号）
- 12月11日 伊勢崎オートレース場選手宿舍新築給排水衛生設備工事（債務負担行為）請負変更契約締結の専決処分の報告について（第31号）

常任委員会審査

本会議で常任委員会に付託された議案について慎重に審査を行いました。主な質疑及び結果概要は次のとおりです。

総務委員会

伊勢崎市部設置条例等の一部を改正する条例案

問 改正後に指定管理者制度を所管する部署は。

答 PPP／PFIやPFS、包括的な業務管理委託、指定管理者制度を含む官民連携手法全般について、新設を予定している市長戦略部公共施設マネジメント推進課に設置する官民連携推進係が所管する予定です。

令和7年度伊勢崎市一般会計補正予算（第6号）

問 道路管理事業における工事請負費810万円の内容は。

答 伊勢崎駅南口ロータリーの屋根部分、延長70メートルに、ノズル50個のミスト装置を増設するものです。

結果 付託された4議案は、原案のとおり可決すべきと決定しました。

文教福祉委員会

令和7年度伊勢崎市病院事業会計補正予算（第1号）

問 総合情報システム構築支援業務委託の内容は。

答 現在使用している電子カルテをはじめとする病院の総合情報システムの令和10年度の更新に向けて、病院職員だけでは対応が難しい技術面、契約面、セキュリティ面の検討を着実に進め、次期システムの効果的な導入と価格の適正化、安全な稼働を実現するための専門的な知見を持つコンサルタントの支援業務です。

公の施設の指定管理者の指定について（伊勢崎市臨海学校）

問 選定された事業者の事業展開は。

答 現在、全国の33施設において指定管理業務を行っており、臨海学校のある長岡市では、長岡屋内総合フールの指定管理業務を行っています。本市においても、臨海学校の水難事故防止業務やライフセーバーの業務を受託しています。

結果 付託された5議案は、原案のとおり可決すべきと決定しました。

経済市民委員会

伊勢崎市土砂等の埋立て等の規制に関する条例の一部を改正する条例案

問 改正概要は。

答 これまでは当該条例により災害防止及び土壌汚染防止の観点から土砂等の埋立て等について必要な規制をしていたものが、宅地造成及び特定盛土等

規制法の改正に伴い、災害については当該法により、土壌汚染については当該条例により規制することとなり、併せて当該条例に基づく事業の実施に関する手続が許可制から届出制に緩和されたものです。

結果 付託された議案は、原案のとおり可決すべきと決定しました。

建設水道委員会

伊勢崎市都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例の一部を改正する条例案

問 指定区域外となった土地、建物の所有者への対応は。

答 条例の施行前から建築された建築物については、改正前と同様に同一用途の範囲で建築可能となる経過措置などを設けています。

伊勢崎市水道料金等審議会条例の一部を改正する条例案

問 委員の選定の理由及び検討状況は。

答 これまで委員を務めていた団体と同様の活動をしている団体が市内になことから、委員の構成を見直し、家庭での使用者の代表とのバランスを考慮した結果、事業者の代表である群馬伊勢崎商工会を加えることとなりました。

結果 付託された8議案は、原案のとおり可決すべきと決定しました。

特別委員会調査

各特別委員会で、次のとおり調査が行われました。

議会改革推進特別委員会

日時 令和7年11月21日・12月11日
調査事項 議会基本条例の検証について

地域交通対策調査特別委員会

日時 令和7年12月15日
調査事項 コミュニティバスあおぞらについて、伊勢崎市地域公共交通計画の策定について

公共施設のあり方調査特別委員会

日時 令和7年12月16日
調査事項 管財課資産活用推進係の今までの取組について（事務分掌、令和4年度新設後の取組、所管施設への技術的助言及び帯同としての事務、課題）

少子高齢対策特別委員会

日時 令和7年12月16日
調査事項 こども計画について

特別委員会の次回開催予定及び開催状況については市のホームページでお知らせしています。

意見交換会を開催しました

市民の声を議会運営の改善や政策提言に活用するため、令和7年には次の団体との意見交換会を開催しました。

開催日	委員会	団体	テーマ
10/14	総務	伊勢崎市消防団	・分団の現状について ・分団の統合について ・団員の確保について ・企業との連携、制度の確立について
10/21	建設水道	一般社団法人群馬県宅地建物取引業協会伊勢崎支部	・所有者不明の空き家について ・区費の徴収について ・開発許可及び事前協議制度について
10/29	文教福祉	伊勢崎市自立支援協議会	・福祉と他分野との連携について ・障害者の防災対応について ・障害者の一般就労の促進について ・相談支援専門員の確保について
11/12	経済市民	伊勢崎商工会議所	・人材不足について



視察の受入れ

本市の特色ある施策や先進的な事例を調査するため、令和7年には次の市議会が本市へ視察に訪れました。

来訪日	来訪議会	調査事項
1/16	福島県田村市	議会改革及び議会運営について
1/27	埼玉県久喜市、埼玉県蓮田市、埼玉県白岡市	タクシー活用事業(くわまるタクシー)の利用・マイナンバーの活用について
10/20	千葉県松戸市	議会運営について
11/ 5	北海道函館市	職員の人材育成について
11/ 7	茨城県つくば市	タクシー活用事業(くわまるタクシー)について

次回定例会に係る会議日程（予定）

2/13	金	議会運営委員会
2/19	木	本会議
2/25	水	本会議
2/26	木	本会議（一般質問）
3/ 3	火	本会議（一般質問）
3/ 5	木	予算特別委員会
3/ 6	金	予算特別委員会
3/ 9	月	総務委員会
3/10	火	文教福祉委員会
3/11	水	経済市民委員会
3/12	木	建設水道委員会
3/16	月	議会運営委員会
3/19	木	本会議

寄附禁止のルールを守りましょう！

政治家が選挙区内の人に、お金や物を贈ることは、法律で禁止されています。違反すると罰せられます。
また、有権者が寄附を求めることも禁止されています。

 御歳暮・御年賀	 入学祝・卒業祝	 病気見舞い	 代理が出席する場合の結婚祝
 代理が出席する場合の葬式の香典	 葬式の花輪・供花	 落成式・開店祝の花輪	 町内会の催しへの寸志や差し入れ
 お祭りへの寄附や差し入れ	 地域の運動会などへの差し入れ	贈らない！ 求めない！ 受け取らない！	

